

日本建設業連合会 関西支部 若手技術者と CVV との交流会（講習会） 開催報告

CVV 技術継承グループ

1. はじめに

日本建設業連合会（以下、日建連と略称）は、大手から中堅のゼネコン 140 社の法人会員などから成る一般社団法人であり、東京に本部を置き全国に 9 支部を展開している。関西支部は 76 社の会員を有し、大阪建設会館 4F に事務局が置かれている。CVV 技術継承グループでは、かつて日建連の関西支部長を務めていた CVV 友廣委員経由で、日建連の若手技術者と CVV とのコラボに関して働きかけを行ってきた。

今回、日建連関西支部の日野事務局長にご尽力いただき、2025 年度第 2 回「若手会員の会」の会合に途中から参加して、講習会形式の交流会（意見交換）を行う運びになった。

2. 交流会（講習会）の概要

日 時：令和 7 年 6 月 6 日（金）16：00～17：40

場 所：大阪建設会館 3F 会議室

参加者：日建連 若手技術者 14 名、世話役 2 名

CVV 5 名（内、2 名が講師として発表）

講習会：表-1 にプログラムを示す。

話題提供：表-2 に話題提供 2 題を示す。

① エンジニアとしてのチャレンジ

講師：鈴木 威 委員（元、阪神高速道路）

写真-1 に鈴木委員の講演風景を示す。

② 技術者たちの気概・志の伝承

— 西堀栄三郎、空海そしてイチローに学ぶ —

講師：原 稔明 委員（元、水資源機構）

写真-2 に原委員の講演風景を示す。



写真-1 鈴木委員の講演風景

3. グループ討議と発表

1) グループ討議（15 分間）

日建連の若手技術者を 3 班に分け、話題提供①を 2 班で、話題提供②を 1 班でグループ討議を行って頂いた。

表-1 交流会（講習会）プログラム

時刻	時間	内容
16:00～16:05	5分	ガイダンス(交流会の内容紹介)
16:05～16:35	30分	話題1:エンジニアとしてのチャレンジ
16:35～17:05	30分	話題2:技術者たちの気概・志の伝承
17:05～17:20	15分	討議
17:20～17:40	20分	討議内容発表(各グループ5分)

表-2 話題提供2題

「国内外でのベテランの足跡を訪ねて」
— 故きを温ねて、新らしきを知る —

話題提供	講師	概要
エンジニアとしてのチャレンジ	鈴木 威	ブータン王国など JICAでの技術活動を中心に、経験の一端を語ります。
技術者たちの気概・志の伝承—西堀栄三郎、空海そしてイチローに学ぶ—	原 稔明	ダム工事などに携わる中で、古人の志に触れた思いを語ります。



写真-2 原委員の講演風景

グループ討議のテーマは、1. ベテランの経験は参考になったか？2. どこが参考になったか！3. あるいは、こんな理由で参考にはならなかった！4. 私達なら、こんな経験をしてみたい、5. その他、気づいた点やコメントなど、について討議結果を記録してもらった。

写真-3、写真-4 に討議風景を示す。

2) 討議発表 (5 分間×3 班)

グループ討議で話し合われた内容を、記録紙を掲げて発表して頂いた。写真-5 に発表風景を示す。



写真-3 討議風景 1



写真-4 討議風景 2



写真-5 発表風景

4. アンケート結果

講習会終了後に選択式の簡単なアンケートを無記名方式で実施した。講習会参加者は男性 12 名、女性 2 名で、年齢は 30 歳代 6 名、20 歳代 8 名と非常に若い年齢構成であった。

所属は、営業・企画部門 4 名、設計・開発部門 4 名、施工・品質管理部門 4 名、工事部門 1 名、購買・調達部門 1 名という内訳であった。

アンケートでの設問は、①今日の講演は面白かったか、②参考になったか、③講演を聞いて自分もやる気になったか、④次回また参加したいか、に対し「そう思う」、「どちらでもない」、「そうは思わない」の 3 択方式で行った。12 名が①から④のすべてに対し「そう思う」と回答し、1 名がすべてに対し「そうは思わない」を、1 名が①と②は「そう思う」で③と④に対し「どちらでもない」を選択されていた。

アンケート結果からは、今回の交流会を肯定的に捉えられていたと思われる。

5. おわりに

今回、日建連の「若手の会」定例会の途中から CVV が参加して、講演会方式の交流会を実施するという実験的試みを行った。講演会の話題提供 2 題は「CVV な男たち・女たち」に掲載された CVV 会員の経験談から選定したものである。当日は特にトラブルもなく、講演 2 題、討議、発表 (3 班) を終了することができた。

また、講演会終了後に歩いて 10 分ぐらいの店で懇親会も開催され、若手技術者の本音の意見を聞くことができた。育休取得奨励や働き方改革で残業規制も厳しく、もっと業務に注力したいのに時間的制約があること、セキュリティーの問題から自宅に PC やデータを持ち帰れないなど「やる気はあるのだが、時間が・・・」との不満の声も聞かれ、OJT に関して苦労しているようでもあった。

交流会の事前打合せおよび当日の会場準備等に種々ご尽力いただいた日本建設業連合会関西支部の日野事務局長をはじめ事務所の方々に、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

今回の経験を踏まえ、秋ごろの次回開催に向けて準備してゆきたいと思っている。

以上